

## 米倉教公の週間為替市場見通し

6/6 日週号

ドル/円予想レンジ 105.00 - 108.50 円

## 『週明けイエレン FRB 議長講演注目！』

## ■今週の市場動向：米経済指標受け週末にドル売り加速

前週のドル/円の週足では、上ヒゲ大陰線引けとなり、3週間の上昇分を全て打ち消すほどの下げとなった。週明けは5月27日のイエレン FRB 議長が早期利上げに対して前向きな姿勢を示したことで、ドル買いが進んだ流れを引き継ぎ一時 111.45 円と4月28日以来の高値を付けた。世論調査で英国の EU 離脱支持が残留を上回ったことが報じられ、ポンド/円の急落にドル売り・円買いが強まった。翌1日は消費税率の引き上げを2年半延期を発表されたが、補正予算の言及がなかったことで、ドル売り・円買いが強まり 110 円を割り込んだ。2日は日経平均株価が大幅下落したほか、佐藤日銀審議委員がマイナス金利に否定的な見解を示したことでドルを押し下げた。ECB が現状維持だったことや NY ダウ安・長期金利低下でドル売りが強まった。3日は日経平均株価が上昇したことで一時 109 円台を回復した。しかし、注目されていた5月米雇用統計が予想を大きく下回ったことや、5月 ISM 非製造業景況指数も予想を下回ったことを受け、ドル売りが加速し 106.53 円まで下落して終了した。

## ■来週の注目点：週明けイエレン FRB 議長講演に注目！

今週の注目点は、イエレン FRB 議長のほか、FRB メンバーからの発言を受けて米早期利上げ期待が高まっていたが、米雇用統計の結果を受けて急速に利上げ期待が後退してしまった。6月14-15日に開催される FOMC を控えて、FRB がブラックアウト期間に入る前にイエレン FRB 議長が6日 25:30 フィラデルフィアで経済に関する講演を予定しており、ネガティブサプライズとなった米5月雇用統計を受けた見解に注目が集まる。イエレン FRB 議長は長期的な見解が重要でひと月の指標では判断しないとの姿勢を強調し、『労働市場は依然健全』と強調する可能性がある。また、7月の利上げの可能性も除外しないとの見解を示す可能性もある。日本では消費増税再延期で、日銀の追加利下げ観測も後退したため円が上昇しやすい環境にある。

## ■テクニカル的な見解

5月31日付のシカゴ IMM 投機筋の対米ドルの差し引き持ち高で、円は前週の+22,059 から+14,837 へと円の買い持ち高は前週からさらに減少し1月中旬以来で最小となった。投機筋のポジションが軽くなったことで、米雇用統計の結果を受けて急速に利上げ期待が後退したことで仕掛け的なドル売りを持ちこむ可能性も高い。一目均衡表の雲の上限上抜けに失敗し、雲の下限下抜け、基準線下抜けとなった。ストキャスティクス・スロー（パラメータ：14、3、3、20、80）では、%K と %D が勢いよく下向きとなっていることから、週明けでは下値模索の動きとなりやすい。上値では節目の 107.00 円、基準線 107.48 円、108.00 円、5月12日の安値 108.19 円、5月16日安値 108.42 円が意識される。下値では、5月6日安値 106.42 円、5月3日の 105.51 円が目途となる。ただ、上値切り下げ・下値切り下げの動きとなっていることから、一時的にでも3日の安値を下回る可能性も高い。

ドル/円：日足

終値：106.53 円



## ★先週の気になる出来事

先週1週間の為替相場波乱含みの展開だった。週明け一時 111.45 円まで上昇した後、週末には一時 106.47 円まで下落した。5 円もの下落となった。売り屋にとっては最高の週になった。上昇相場は一段一段階段を上るような動きになりやすいが、下落相場はフリーホールに近い動きをすることが多い。ただ、今週は暫く静かだった円高論者達が息を吹き返したように、103 円いやいや 100 円までと、もつともらしい理論？妄想？を並べて煽り続ける週になるのだろうか。

商号：株式会社フジトミ

金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第 1614 号

商品先物取引業者：農林水産省指令 22 総合第 1351 号,経済産業省平成 22・12・22 商第 6 号

加入協会：日本証券業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人金融先物取引業協会、

■くりっく 365 の売買手数料は 1 枚当たり最大でインターネットスタンダードコースが片道 0 円 (税込)、インターネットプレミアムコースが片道 648 円 (税込)、コンサルタント取引 (対面取引) コース及びコンサルタント取引 (対面取引) オンライン併用コースが片道 1,080 円 (税込) です。

■くりっく 365 における証拠金の額は、株式会社東京金融取引所が定める為替証拠金基準額で、原則週次で見直されます。その額は通貨ペアによって異なり、個人のお客様の場合最大で約 25 倍のお取引が可能です。

【くりっく 365－為替証拠金基準額の算出方法】

金融先物取引所が定める為替証拠金基準額は以下の計算式に基づき、算出致します。

計算式：為替証拠金基準額＝取引単位 (元本金額) ×4%× (5 取引日の為替清算価格平均値)

■「くりっく 365」には、以下のリスクがあります。

【価格変動リスク】

くりっく 365 は、取引する通貨の価格の変動に伴い差損が生じる場合があります、元本や収益が保証されるものではありません。建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生ずる場合があります。また、差入証拠金以上の損失が生ずる場合があります。

【レバレッジリスク】

くりっく 365 は、取引の額が預託された証拠金に比して大きくなるため、価格変動リスクその他のリスクがその比率に応じて増幅されます。レバレッジにより、その取引について必要となる証拠金の最大 25 倍までのお取引を行うことができます。

【信用リスク】

当社は、東京金融取引所を相手方とした「清算制度」に参加しており、お客様の証拠金は、全額取引所が区分管理しているため、原則として全て保全されています。しかし、当社の信用状況の変化等により支払いが滞ったり、破綻した場合には、返還手続きが完了するまでの間に時間がかかったり、その他不測の損失を被る可能性があります。

#### 【システム障害リスク】

当社及び東京金融取引所のシステム、又はお客様、インターネット業者、東京金融取引所の間を結ぶ通信回線等に障害が発生した場合には、相場情報等の配信、発注・執行等が遅延したり、不可能になることがあり、その結果、不測の損失が発生する可能性があります。

#### 【税制・法律等の変更リスク】

税制・法律又はその解釈等が将来変更され、実質的に不利益な影響を受ける可能性があります。

#### 【金利変動リスク】

取引対象である通貨の金利が変動すること等により、保有するポジションのスワップポイントの受取額が減少、又は支払額が増加する可能性があります。ポジションを構成する2国間の金利水準が逆転した場合等には、それまでスワップポイントを受け取っていたポジションで支払いが発生する可能性もあります。また、一部の通貨においては、外国為替市場における当該通貨の需給関係等の影響を受けて、金利変動によらずにスワップポイントの増減や支払いの逆転が生じたり、場合によっては、金利の高い方の通貨の買いポジションでスワップポイントの支払いが生じる可能性があります。

#### 【流動性リスク】

くりっく 365 で提示する為替レートには価格差（スプレッド）があります。くりっく 365 では、マーケットメイカーが買呼値及び売呼値を提示し、それに対してお客様が注文を発注して取引が成立する方式を取っています。状況（天変地異、戦争、政変あるいは為替相場の激変等）によって、マーケットメイカーによる買呼値や売呼値の安定的、連続的な提示が不可能または困難となることがあり、その結果、想定する価格で取引ができないなど、お客様にとって不測の損失が生じる可能性があります。また、一部の通貨において母国市場等の休業の場合には臨時に休場することがあります。更に、当該国の為替政策・規制による他通貨との交換停止や外国為替市場の閉鎖の措置がなされるなどの特殊な状況が生じた場合には、特定の通貨ペアの取引が不能となる可能性もあります。なお、平常時においても流動性の低い通貨の取引を行う場合には、希望する価格での取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

#### 【コンバージョンリスク】

クロスカレンシー取引においては、決済が当該通貨ではなく円貨でなされることから、決済時に当該通貨の為替リスクの他に円との為替リスクがあります。

#### 【ロスカットのリスク】

相場の変動により、有効比率が当社の定める基準以下となったことを当社が確認した場合、お客様の意思に関わらず、当社はおお客様の全ての未約定注文の取消及び全ての建玉の決済注文（ロスカット注文）の発注を行います。

ロスカットの場合でも、相場の急激な変動により損失の額が差し入れた証拠金の額を上回る可能性があります。

#### 【情報リスク】

当社からご提供させていただく情報は、くりっく 365 の取引の参考としていただく資料です。その記載情報は、信頼性、正確性、完全性において保証されるものではありません。また、情報内容も予告なしに変更することもあります。

#### 【その他】

取引所為替証拠金取引の売買は、クーリング・オフの対象とはなりません。取引所為替証拠金取引に関しましては、金融商品取引法第37条の6の規定の適用対象とはなりませんので、ご注意ください。

※くりっく 365 は、株式会社東京金融取引所の登録商標です。